

日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 32 回 輸送容器分科会 (F3SC) 議事録

1. 実施日時 : 令和 2 年 10 月 5 日 (月) 13 : 30~14 : 30
2. 実施場所 : 原燃輸送(株) 本店 大会議室
3. 出席者 : (敬称略)
(出席委員) 久保 (主査), 高月 (幹事), 北瀬, 溝渕, 影山, 松岡, 清水, 吉田, 道券, 山岡 (10名)
(代理出席委員) なし (0名)
(出席委員候補) 松本, 島 (2名)
(欠席委員) 木倉, 浅見 (副主査), 村松 (3名)
(常時参加者) 広瀬, 南波, 蓬田, 高橋 (純), 伊藤, 樋口, 菊池 (7名)
(欠席常時参加者) 高橋 (秀) (1名)

4. 資料

- 第 32 回輸送容器分科会議事次第
- F3SC32-1 第 31 回 輸送容器分科会議事録 (案)
- F3SC32-2-1 人事について (輸送容器分科会) (案)
- F3SC32-2-2 人事について (輸送容器分科会 作業会) (案)
- F3SC32-3-1 日本原子力学会標準「使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準: 2013」の改定に係るアンケートの集約結果及び今後の検討方針等について
- F3SC32-3-2 「使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準: 2013」改定に係るアンケート 集約結果及び検討状況
- F3SC32-4 「使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準: 2013」改定の進め方について
- 〈参考〉
- F3SC32-参考 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会 輸送容器分科会 (F 3 S C) 委員一覧
- FTC84-X-X 日本原子力学会 標準委員会 第 84 回 原子燃料サイクル専門部会 議事次第 (案)

5. 概要

日本原子力学会標準委員会原子燃料サイクル専門部会 第 32 回 輸送容器分科会 (F3SC) が開催され, 委員の選任について議論を行った。また, 「使用済燃料・混合酸化物・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準: 2013」改定に係るアンケート結果を踏まえた作業会での対応方針及び本分科会における検討スケジュール等について議論を行った。

6. 内容

開催に先立ち, 13名の委員中, 10名の委員の出席があり, 分科会成立に必要な委員数 (8名以上) を満足している旨の報告があった。

(1) 前回議事録 (F3SC32-1)

事務局 (高月幹事) より前回議事録の内容が説明された。議事録中の開催日時における「令和元年」との記載は正しくは「令和2年」であることが説明された。

コメント等があれば、一週間を目途に事務局に連絡することとなった。

(2) 人事について【審議】 (F3SC32-2-1, F3SC32-2-2)

事務局より分科会及び作業会人事について報告があり、分科会として了承した。

【分科会人事】

a. 退任委員の報告

F3SC32-2-1 に示される2名の委員の退任が報告された。

b. 新委員の選任

F3SC32-2-1 に示される2名の委員候補が推薦された。決議の結果、2名を新委員として選任した。

【作業会人事】

a. 常時参加者の報告

F3SC32-2-2 に示される常時参加者の退任及び登録について報告された。

(3) 日本原子力学会標準「使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準:2013」の改定に係るアンケートの集約結果及び今後の検討方針等について【審議】 (F3SC32-3-1, F3SC32-3-2)

影山委員 (作業会主査) より「使用済燃料・混合酸化物・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準 AESJ-SC-F006:2013」の改定に係るアンケート集約結果及び今後の検討方針等について説明があり、分科会として承認した。

また、今後の改定検討においては、TRANSSCC で承認された PDSR (Format and Content of the Package Design Safety Report) や、現在検討中の経年劣化ガイドについて考慮が必要であるとの注意喚起がなされた。

(4) 「使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準:2013」改定の進め方について (F3SC32-4)

事務局より使用済燃料・混合酸化物燃料・高レベル放射性廃棄物輸送容器の安全設計及び検査基準:2013改定の進め方について、コロナウィルス感染拡大に伴う検討工程への影響やリサイクル燃料貯蔵分科会 (F4SC) で検討している、「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準 AESJ-SC-F002:2010」の改定の進捗状況を踏まえて、改定スケジュールを2021年度末の改定版制定を目指すよう変更することについて報告があり、分科会として了承した。

(5) その他

次回(第33回)は作業会の検討進捗状況を踏まえて別途開催調整する。

また、前回(第31回)分科会で意見が出された当分科会の名称変更(輸送容器分科会→輸送物分科会)については、事務局にて改めて手続き等を確認することとなった。

以 上